

# 平成25年度 学校自己評価システムシート

# ( 県立特別支援学校さいたま桜高等学園 )

目指す学校像	個々の生徒の持てる力を最大限に発現できる教育実践により、一般就労率100%を目指す
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県委嘱研究の成果と課題を全職員で共有し、働く力を高めるための授業づくりを推進する。</li> <li>2 進路指導部を中心に学年・学級・学科の協働により個を生かす就労支援を推進する</li> <li>3 「働くために身に付けたい力」を活用し、学校生活を通して意欲や社会性を育てる。</li> <li>4 特別支援教育のセンター的機能や地域と連携・共同した活動を一層推進する</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>○多くの生徒が卒業後の一般就労という目標に向かって学習や就労に係る実習、学校行事、部活動に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>○生徒の障害特性と、キャリア教育の視点を踏まえ、一人一人が「わかる・できる」授業を実践し、職業自立に向けた効果的な指導を展開する必要がある。</p>	<p>・「わかる・できる」授業を目指し、働くための力を育成する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業改善に繋がる職員研修の継続的な実施によるわかる・できる授業の実現</li> <li>②障害特性、進路希望等を踏まえ個別の指導計画に基づいた指導を展開</li> <li>③「働くために身に付けたい力」を活用した生徒の実態及び達成度の分析</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①わかりやすい授業の展開→生徒アンケート、授業参観アンケート</li> <li>②授業に支援プランを生かせたか→保護者アンケート</li> <li>③働く力が身に付いたか→「働くために身に付けたい力」チェックシート</li> </ol>			
2	<p>○進路指導部を中心に全職員が協力した就労支援体制が定着しつつあり、昨年も卒業時の一般就労率は92%であった。</p> <p>○一般就労率100%の実現に向けて、家庭や関係諸機関との連携を強化し、個々の特性を踏まえた定着率の高い就労の実現を図る必要がある。</p>	<p>・一般就労率100%と定着率の向上を目指す。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①全職員の協力と進路指導部との連携による指導の展開</li> <li>②個々の生徒の特性にあった実習先、就労先の実現</li> <li>③PTA進路説明会、講演会、企業見学等による保護者の就労への意識啓発</li> <li>④障害者雇用セミナーの実施による連携を強化</li> <li>⑤全職員の協力による職場開拓</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①進路状況(就職者数、一般就労率)</li> <li>②産業現場等における実習の実施状況</li> <li>③保護者の進路行事等への参加状況(進路説明会、講演会、企業見学等)</li> <li>④関係機関との連携状況</li> <li>⑤職場開拓数</li> </ol>			
3	<p>○学校内外の運動関係の大会、文化的行事、コンクール等において生徒が活躍をし、好成績を収め成果が上がっている。</p> <p>○「こころとからだの健康学習」について自立活動・道徳を中心にすべての教育活動の中で実施するが、保護者や企業に向けても発信し連携を図る必要がある。</p>	<p>・自ら課題を見つけ解決に向けて努力できる生徒を育成する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①各種大会やイベント等への積極的参加</li> <li>②各種検定試験、コンクール、資格認定試験への積極的な挑戦</li> <li>③道徳、自立活動における「こころとからだの健康学習」の実施と保護者への周知</li> <li>④「働くために身に付けたい力」を活用した生徒の社会性の育成</li> <li>⑤生徒指導上の課題改善に向けた丁寧な個別指導の実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①部活動実施状況及び実績→保護者アンケート</li> <li>②各種検定、コンクールへの参加及び資格取得状況</li> <li>③こころとからだの健康学習実施状況→保護者アンケート</li> <li>④社会性が身に付いたか→「働くために身に付けたい力」チェックシート</li> <li>⑤個別指導の実施状況</li> </ol>			
4	<p>○桜区や地域自治会、関係企業等との合同企画や協働を積極的に進めている。ショップやプラザの販売活動も定期的の実施できており、常盤高校との交流及び共同学習も始まっている。</p> <p>○HPを充実させ学校の情報を適切に発信するとともに、特別支援学校のセンター的機能を十分に発揮する必要がある。</p>	<p>・地域の信頼に応え魅力ある開かれた学校作りを推進する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①コーディネーターを中心とした高等学校等への支援</li> <li>②学校説明会、進学フェアによる中学校との連携強化</li> <li>③学校視察、学校訪問の積極的な受入れによる教育実践の提供</li> <li>④プラザ、ショップの販売を通じた地域交流の強化と教育活動の啓発</li> <li>⑤地域行事への積極的な参加と地域の学校との交流及び共同学習の実施</li> <li>⑥HPによる学校教育情報の発信</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①高等学校等への支援の回数</li> <li>②学校説明会への参加者数</li> <li>③学校視察・学校訪問の回数・参加者数</li> <li>④地域プラザ、ショップ販売実績</li> <li>⑤地域行事への参加及び交流及び共同学習の実施状況</li> <li>⑥HPの更新回数とアクセス回数</li> </ol>			

学校関係者評価
実施日 平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等